

### 地域密着型サービスの自己評価票

| 項 目                |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                           | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                             |
|--------------------|---|---|------------------------|---|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |   |   |                        |   |
| <b>1. 理念の共有</b>    |   |   |                        |   |
| 1                  | ○地域密着型サービスとしての理念<br><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | 玄関入って直ぐ見える所に理念が掲示してある。                                    |                        |   |
| 2                  | ○理念の共有と日々の取り組み<br><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | G・H全員で考えた理念がありそれを各ユニット掲示し共有している。その理念を基本として各自目標を立て取り組んでいる。 | ○                      | 年度初めに理念を基に各ユニットの年間目標を立てて取り組んでいけたらいいと思う。                     |
| 3                  | ○家族や地域への理念の浸透<br><br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 理念を玄関の壁に掲示し家族や見学者にも見えるようにしてある。                            |                        |   |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |   |   |                        |   |
| 4                  | ○隣近所とのつきあい<br><br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 複合施設の為他施設の利用や職員が立ち寄ったりしているが施設外の人達とはあまり交流がない。              | ○                      | 保育園児が足を運んでもらえるようなグループホームにしていきたい。                            |
| 5                  | ○地域とのつきあい<br><br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている   | 地域のグランドゴルフ大会に職員が参加したりしている。                                | ○                      | 一般の人々にもっとグループホームの内容を知ってほしいと思う。GHの見学や認知症に関する講座を開催し、理解してもらおう。 |

| 項 目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--|------------------------|---------------------------------|
| 6<br>○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる                   | 地域の高齢者と利用者との交流がない。   | ○                      | 地域の運動会等に参加していきたい。               |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>  |  |                        |                                 |
| 7<br>○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                            | 過去の外部評価の結果を定例会で伝達し又、回覧することで評価された部分は伸ばし指摘された部分は速やかに改善するようにしている。 |                        |                                 |
| 8<br>○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている            | 今年度は2ヶ月に1回開催し、それぞれの立場から意見交換を行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。           |                        |                                 |
| 9<br>○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                             | 一昨年よりセンター方式研修の協力員として出席し、市町村とともにサービスの質の向上にとりくんでいる。              |                        |                                 |
| 10<br>○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 施設外の研修や園内研修で制度を学んでいる。  |                        |                                 |
| 11<br>○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている            | 施設外の研修に参加し学んでいる。入浴時に身体状態の観察を行い防止に努めている。                        |                        |                                 |

| 項目                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいきたい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)     |
|------------------------|--|--|-------------------------------------|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |  |  |                                     |
| 12                     | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>            | <p>契約は管理者や各リーダーが立ち合い理解・納得を図っている。</p>   |                                     |
| 13                     | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | <p>普段から馴染みの関係を築き利用者が感情を表現しやすくしている。</p>   |                                     |
| 14                     | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>         | <p>GHでの生活を年2回、各ユニットごとに新聞を作り家族へ発送している。また担当変えや利用者の状態をその都度電話等で報告している。ケアカンファレンス前に家族の希望を聞くため少なくとも3ヶ月に1回以上は報告している。</p> |                                     |
| 15                     | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | <p>運営推進会議やアンケートを郵送するなど意見・不満・苦情を表せる機会を設け、運営に反映させている。</p>  | <p>○ アンケートを継続して行い、意見を反映させていきたい。</p> |
| 16                     | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                       | <p>年2回の個人面談、月1回の定例会で意見や提案を聞く機会を設けている。</p>  |                                     |
| 17                     | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>職員間でシフト変更を行い柔軟な対応ができるよう努めている。</p>   |                                     |

| 項 目                |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 18                 | ○職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 3ユニット合同での行事や業務内でユニット間交流がある為その都度声掛けを行い馴染みの関係を作っている。   |                        |                                 |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |  |  |                        |                                 |
| 19                 | ○職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 管理者が研修計画を立てすべての職員が研修に行くことができている。又、個人で行きたい研修がある時は相談すると行くことができるよう勤務を組んでもらっている。月1回夜定例会を行い研修報告や救急法研修等実施している。 |                        |                                 |
| 20                 | ○同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 他施設のG・Hへ利用者と一緒に見学へ行ったり他施設の職員が見学に来たり交流を行っている。   | ○                      | 他グループとの行事を共同で行い交流していきたい         |
| 21                 | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                       | 職員旅行等で気分転換が図れるようになっていく。  |                        |                                 |
| 22                 | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                           | 人事考課を年2回行い自己目標を立て各自が向上心を持って働ける様になっている。   |                        |                                 |

| 項 目                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                              | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)    |
|----------------------------------|--|---|------------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>       |  |   |                                    |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |  |   |                                    |
| 23                               | ○初期に築く本人との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 見学に来られた際本人のはなしを十分に聞き訴えを受け止めるようにしている。                |                                    |
| 24                               | ○初期に築く家族との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                       | 見学に来られた際家族の気持ちや思いを大事にし受けとめるようにしている。                 |                                    |
| 25                               | ○初期対応の見極めと支援<br><br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | 本人、家族にとってどう対応するのが良いか見極め他のサービス利用を含めた対応を行っている。        |                                    |
| 26                               | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 見学時や事前に本人同伴での見学をすすめホームの雰囲気等を理解してもらった上での利用開始をすすめている。 | ○ だれが来てもここで入居したいと思えるような環境を作っていきたい。 |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |  |   |                                    |
| 27                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 利用者と共に生活しながら信頼関係を築いている。                             |                                    |

宮崎県宮崎市高岡町 グループホームたちばな（1号館）

| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                    | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 28  | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | 行事の参加を促し共に利用者を支えていく関係を築くよう努めている。                   |                        |                                 |
| 29  | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | 毎月現状報告を行い面会を呼び掛けている。                               |                        |                                 |
| 30  | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている                | 家族に友人の面会を呼び掛けたりドライブ等を行い支援に努めている。                   |                        |                                 |
| 31  | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | 利用者同士が楽しく過ごせるよう座席の位置を工夫している。                       |                        |                                 |
| 32  | ○関係を断ち切らない取り組み<br><br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 併設の病院や特養等に移った元の利用者に声掛けたり家族の方がお便りや来園されたり今も交流が続いている。 |                        |                                 |

| 項目                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                                       | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |                                |
|---------------------------------------|---|--|---------------------------------|--------------------------------|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |   |  |                                 |                                |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |   |  |                                 |                                |
| 33                                    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 本人がゆっくり生活できるよう作業や余暇活動を支援検討している。                              | ○                               | 出来るだけ本人の意向に添った生活が送れるようにしていきたい。 |
| 34                                    | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 家族からの情報提供や本人の話を聞く等馴染みの暮らしの把握に努めている。                          | ○                               | 家族からの情報を知り実践に活かしていきたい。         |
| 35                                    | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 常に職員間で情報交換を行っている。（口頭、申し送り簿、日誌、カンファレンス等）                      |                                 |                                |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |   |  |                                 |                                |
| 36                                    | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | その時々で気付いた事などを申し送り簿等を活用し全員が理解できるようにしている。家族や本人の意見も申し送るようにしている。 |                                 |                                |
| 37                                    | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 月1回のカンファレンスを行う際家族に状態報告や要望等がないか電話を行う。                         |                                 |                                |

| 項 目                                |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                         | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|---|------------------------|---------------------------------|
| 38                                 | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている     | 毎日個別記録を記入し月に1回カンファレンスを行っている。                            |                        |                                 |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |   |   |                        |                                 |
| 39                                 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、馴染みの関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 併設の施設でショートを利用されている夫との毎週土曜の昼食を一緒に摂り家族との触れ合いをたのしんでもらっている。 |                        |                                 |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |   |   |                        |                                 |
| 40                                 | ○地域資源との協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している              | 地域のボランティアや夏祭り、草刈り等に参加している。                              |                        |                                 |
| 41                                 | ○他のサービスの活用支援<br><br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている   | ケアマネジャーに来園してもらったり定期的にTELホームの現状を説明し理解協力をもらっている。          |                        |                                 |
| 42                                 | ○地域包括支援センターとの協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している  | 運営推進会議にも出席してもらい利用者の現状や地域高齢者の現状等をお互い出し合い協働に努めている。        |                        |                                 |

宮崎県宮崎市高岡町 グループホームたちばな（1号館）

| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)      | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|--------------------------------------|------------------------|---------------------------------|
| 43  | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している   | 本人、家族の希望を聞き適切な医療が受けられるよう支援している。      |                        |                                 |
| 44  | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している   | 専門医ではないが医師との関係を築きながら相談を行っている。        |                        |                                 |
| 45  | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている  | 看護職は利用者を把握しており気軽に相談しながら健康管理の支援をしている。 |                        |                                 |
| 46  | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している                       | 病院との連絡を密にできるだけ早期退院できるよう備えている。        |                        |                                 |
| 47  | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している                                    | ターミナルに向けた方針は家族に話をし承諾を得ている。           |                        |                                 |
| 48  | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 実践はないが医療との連携を慎重にすすめている。              |                        |                                 |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 49<br>○住み替え時の協働によるダメージの防止<br><br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 退居の際にはG・Hでのサービス提供の経過や状態報告を行い住み替えによるダメージを防ぐことに努めている。            |                        |                                 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |  |                        |                                 |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>   |  |                        |                                 |
| (1)一人ひとりの尊重  |  |                        |                                 |
| 50<br>○プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                                       | 本人の意思を尊重した対応を行いプライバシーを確保している。                                  |                        |                                 |
| 51<br>○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている                   | 本人が理解できるよう書いて伝えたり各自の理解力に合わせた説明を行っている。                          |                        |                                 |
| 52<br>○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                        | 利用者の体調等に応じTV視聴、仮眠等本人の希望にそって行っている。                              |                        |                                 |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援   |  |                        |                                 |
| 53<br>○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                                    | 化粧をしたり、利用者の家族に美容院に同行してもらっている。着替えの必要な時はなるべく本人の好きな洋服をえらんでもらっている。 | ○                      | 利用者の身だしなみに気を配っていききたい。           |

宮崎県宮崎市高岡町 グループホームたちばな（1号館）

| 項 目                                 |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|---|--|------------------------|---------------------------------|
| 54                                  | ○食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 食べる前に献立の説明を行っている。食器洗いをしてもらっている。                                  |                        |                                 |
| 55                                  | ○本人の嗜好の支援<br><br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している           | 本人が好むものを家族が持参しおやつに出したりしている。                                      |                        |                                 |
| 56                                  | ○気持ちよい排泄の支援<br><br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している       | トイレ時は清拭タオルを使用している自分で拭ける利用者には清拭タオルを手渡し拭いてもらっている                   |                        |                                 |
| 57                                  | ○入浴を楽しむことができる支援<br><br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 気持ち良く入浴できるように努めている。  |                        |                                 |
| 58                                  | ○安眠や休息の支援<br><br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                    | 夜間不眠の利用者には翌朝朝食後就床を促したり昼寝ができるような環境をつくっている。本人の状況に合わせた声掛けし安心を与えている。 |                        |                                 |
| <b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |   |  |                        |                                 |
| 59                                  | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 豆選別、塗り絵や合唱、リズム体操等のレクリエーションを行っている。仕上げた作品等居室に飾る                    |                        |                                 |

| 項 目                   |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                           | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)       |
|-----------------------|--|---|------------------------|---------------------------------------|
| 60                    | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>         | <p>金銭管理は職員が行っている。。ドライブ時に買い物する場合利用者にお金を渡し支払いをしてもらっている。</p> |                        |                                       |
| 61                    | <p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                           | <p>天気が良い日には散歩したり1ヶ月に2～3回ミニドライブや年3回外食を行っている。</p>           |                        |                                       |
| 62                    | <p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>        | <p>年1～2回ふれあいデーと称して家族同行でデパート（宮交シテイー）へ食事や買い物にでかけている</p>     | ○                      | <p>デパートだけでなく家族同行の遠足も今年度は計画している。</p>   |
| 63                    | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>                                  | <p>利用者本人が直接家族と電話で話ができるようにしている。</p>                        | ○                      | <p>ハガキ等に本人の塗りあげた季節感あふれる塗り絵を家族に出す。</p> |
| 64                    | <p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>                   | <p>気兼ねなくいつでも訪問できるような雰囲気をつくるように努めている。</p>                  |                        |                                       |
| <b>(4)安心と安全を支える支援</b> |  |   |                        |                                       |
| 65                    | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>身体拘束をしないようなケアに取り組んでいる。</p>                             |                        |                                       |

宮崎県宮崎市高岡町 グループホームたちばな（1号館）

| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|---|------------------------|---------------------------------|
| 66  | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる     | 日中鍵をかけることはない。                                     |                        |                                 |
| 67  | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している              | 常に居場所を確認し安全確保に努めている。                              |                        |                                 |
| 68  | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている        | 危険を予測し危険と判断した場合本人が話をして対処している。                     |                        |                                 |
| 69  | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる     | 転倒では常に利用者一人ひとりの居場所を把握し、誤薬では服用する際日付け記名等を職員同士で確認する。 |                        |                                 |
| 70  | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている               | 定例会で消防署の救命士により指導を受け心肺蘇生法の仕方を行っている。                |                        |                                 |
| 71  | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 毎月避難訓練を行っている。                                     |                        |                                 |

| 項 目                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|------------------------|----------------------------------|
| 72                               | <p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p> |                        |                                  |
| <b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b> |   |                        |                                  |
| 73                               | <p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>           |                        |                                  |
| 74                               | <p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>       |                        |                                  |
| 75                               | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>         |                        |                                  |
| 76                               | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>                   |                        |                                  |
| 77                               | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>      |                        |                                  |

| 項 目                            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|---|------------------------|---------------------------------|
| 78                             | ○感染症予防<br><br>感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）  | 手袋を使用し、トイレ介助を行いその後は細めに手洗いうがいを行っている。                                     |                        |                                 |
| 79                             | ○食材の管理<br><br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | マニュアルがあり定例会で食中毒予防のビデオを見て再確認している。  |                        |                                 |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |   |   |                        |                                 |
| <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>          |   |   |                        |                                 |
| 80                             | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br><br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 施設の周りにフェンスがあるができるだけ植物等で見えないようにしてある。季節の花を植え来園者や利用者の心が和むようにガーデニングに配慮している。 |                        |                                 |
| 81                             | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用の空間を使い利用者が書いた習字や季節にあった花の写真等を飾っている。                                    |                        |                                 |
| 82                             | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br><br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | 居場所は主に食堂であるが利用者同士のあった人と隣席、向かい合わせにするなど配慮している。                            |                        |                                 |

宮崎県宮崎市高岡町 グループホームたちばな（1号館）

| 項 目                           |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                      | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|--|------------------------|---------------------------------|
| 83                            | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み<br>のものを活かして、本人が居心地よく過<br>ごせるような工夫をしている | 入所前に使用していたタンスやベッドを持っ<br>てきている。                       |                        |                                 |
| 84                            | ○換気・空調の配慮<br><br>気になるにおいや空気のだよみがないよ<br>う換気に努め、温度調節は、外気温と大<br>きな差がないよう配慮し、利用者の状<br>況に応じてこまめに行っている    | 利用者の状況状態に合わせて温度調節を行<br>っている                          |                        |                                 |
| <b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b> |   |  |                        |                                 |
| 85                            | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br><br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活か<br>して、安全かつできるだけ自立した生活<br>が送れるように工夫している                 | 出来ることは本人にしてもらい意欲をも<br>って行えるような関わりを工夫してい<br>る。        | ○                      | 職員の統一したケアを行って行きたい。              |
| 86                            | ○わかる力を活かした環境づくり<br><br>一人ひとりのわかる力を活かして、混<br>乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよ<br>うに工夫している                           | 自立心を引き出せるような関わりを工<br>夫している。                          |                        |                                 |
| 87                            | ○建物の外周りや空間の活用<br><br>建物の外周りやベランダを利用者が楽<br>しんだり、活動できるように活かしてい<br>る                                   | 食堂からみえる所にかぼちゃがなっ<br>ており（フェンス）利用者同士で数<br>を数えたり楽しんでいる。 |                        |                                 |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

| V. サービスの成果に関する項目 |  | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目              |  |                       |              |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ○                     | ①ほぼ全ての利用者の   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいの |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいの |
|                  |  |                       | ④ほとんど掴んでいない  |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         |                       | ①毎日ある        |
|                  |  | ○                     | ②数日に1回程度ある   |
|                  |  |                       | ③たまにある       |
|                  |  |                       | ④ほとんどない      |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  | ○                     | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 94               | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている          | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています |                       | ①ほぼ全ての家族と    |
|                  |  | ○                     | ②家族の2/3くらいと  |
|                  |  |                       | ③家族の1/3くらいと  |
|                  |  |                       | ④ほとんどできていない  |

| 項 目 |   | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|-----|---|-----------------------|--------------|
| 96  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        | ○                     | ①ほぼ毎日のように    |
|     |   |                       | ②数日に1回程度     |
|     |   |                       | ③たまに         |
|     |   |                       | ④ほとんどない      |
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○                     | ①大いに増えている    |
|     |   |                       | ②少しずつ増えている   |
|     |   |                       | ③あまり増えていない   |
|     |   |                       | ④全くいない       |
| 98  | 職員は、生き生きと働いている  | ○                     | ①ほぼ全ての職員が    |
|     |   |                       | ②職員の2/3くらいが  |
|     |   |                       | ③職員の1/3くらいが  |
|     |   |                       | ④ほとんどいない     |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|     |   |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|     |   |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|     |   |                       | ④ほとんどいない     |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ○                     | ①ほぼ全ての家族等が   |
|     |   |                       | ②家族等の2/3くらいが |
|     |   |                       | ③家族等の1/3くらいが |
|     |   |                       | ④ほとんどできていない  |

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・事業所としては複合施設なので急変時に直ぐ対応でき家族も安心されている。ターミナル期も対応できる。又、運動会・夏祭り等大規模な催し物ができる。
- ・園内外の研修を受け、月1回の定例研修会で報告し職員の質の向上に努めている。
- ・できるだけ家族と過ごすことのできる行事を計画し、家族の協力のもと、外出（ふれあいデー等）を行っている。又アンケート等を実施し、家族の意見を取り入れていくようにしている。遠方の家族には新聞等を発送し近況報告をしている。